

泉佐野市外部評価委員会質問票

章	第 2 章 歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）
節	第 2 節 生涯学習・スポーツ
施策	青少年の健全育成
質 問 内 容	
I 成果指標の進捗状況	①青少年会館・青少年センター年間利用者数の成果指標が平成 19 年を基準値に年 3 %の伸び率で目標値を設定しているが、平成 20 年度で既に 130 %を超える利用者数となっており、目標値の見直しは検討していないのか。

泉佐野市外部評価委員会質問票

Ⅱ 成果指標の妥当性、目標値の設定	①成果指標として、文化という切り口とは別に、市文化センターを利用した青少年対象事業への参加者数を捉えてみるのも、市全体への広がりという点で意味があるのではないかな。 ②指標設定の根拠の趣旨は、理解しますが、年内利用件数も具体的数値として重要ですが、青少年会館等が地域的に偏っており、市の青少年全体を反映するものであるといえるのかが課題となる。活動の中味も併せて検討又は再吟味が必要ではないかな。 また、延べ人数とともに実人数の把握も必要ではないかな（実質的なコストパフォーマンス）。 ③施策の概要に、多様な青少年活動に対応できる人材の育成とあるが、多様性を謳う前に、三つ子の魂が確かに形成されることを前提とすべきではないでしょうか。課題や基本方針の策定時点に方向性の誤りがあるように思われます。進学率や犯罪率、または学力等の指標を盛り込んだものに変更すべきかと思います。
-------------------	---

泉佐野市外部評価委員会質問票

Ⅲ 内 容 そ の 他	①青少年センター事業について、機能移転が課題とされているが、具体的にご説明いただきたい。 また、そのことによって期待される効果をどのように想定されているのでしょうか？ ②稲倉青少年野外活動センターについては、健全化の一環ともなるので、積極的に家族での利用を促進してみても如何か。 社会的貢献学習として、年３回という青少年指導員事業の環境浄化活動を強化してみてもと思われる。 ③ジュニアリーダー育成事業の、４事業の課題のところ、今後存続が難しくなりつつある。とありますが、どのようにしてＪＲ活動の活性化をはかり、青少年の健全育成を進めようと考えておられるのでしょうか？具体的な展望があり事業の方向性を現状維持としているのでしょうか？ ④青少年センター運営事業の、２、効率性のところ 講座受講生一人当たりの事業費をはじめ自学自習参加者一人当たりの事業費など常に例年 1000 円を超えています但他の事業と比べこれで効率的といえるのでしょうか？比較がなくよくわからないのですが、この事業内容から少し非効率的ではないかと考えますが、いかがでしょうか？ ⑤妥当性のところサービス範囲・量とも増やすべきとの事です但どのような根拠でそう感じておられるのか具体的に説明をお願いします。 ⑥平成 20 年度からの指定管理導入により、利用者数が増えたと記載されているが、この増加要因をどのように評価しているのか。また、指定管理の年度ごとの評価はどのようになされているのか 指定管理を導入している施設は、どの施設で、指定管理を導入していない施設への今後の導入検討はどのようなスケジュールで行われるのか。 ⑦青少年センター運営事業、１次評価がＡで２次評価がＢとなった判断根拠は何か。
--	--